

## 平成17年度予算決まる 351億2000万 前年比-6.2減



開業間近の三郷中央駅

三郷市の将来を占う  
事業が動き出しま  
す。魅力ある街作りを  
し、市外からの人  
口増を目指さなけ  
れば空洞化してい  
まうのではと思  
います。

平成16年度  
3月議会が1  
日から23日ま  
で開会され、  
平成17年度予  
算他41議案が  
提案され審議  
されました。  
大変厳しい予  
算です。歳入  
では、国から  
の交付金、県  
支出金を合わ  
せると約10  
億円の減額  
です。市税  
については、

1.9割増を見込んでいます。市内に大き  
な業者があると云うことでは、税は、  
28割増の10億500万を見込んでいます。  
又、開発公社所有の半田運動公園の本  
会計への繰り入れに伴う債権34億6200万  
の発行、又、不要資産の売却も予定し  
ています。歳出については、環境整備  
費、商工費等は減額予算と成っており、  
大型店、新駅開通に伴う市内道路環境  
の整備の遅れが心配される処です。新  
規事業としては、三郷中央駅、大型店  
を経由する新たなバス路線網の整備、  
インターA地区に入る第二大場川の橋  
の整備、又中央駅のバス停と隣接する  
「におどり公園」の整備、又三郷駅に  
エレベーターの設置が主要事業と成っ  
ています。エレベーターは総額3億7000  
万の工事ですが、三郷市の負担は6000  
万で国JRが負担を  
すると云うこと  
です。今年、6月  
には大型店のオ  
ープン、8月24日  
にはつくばエクス  
プレスの開業と、三  
郷市の将来を占  
う事業が動き出  
します。魅力ある街作りを  
し、市外からの人  
口増を目指さな  
ければ空洞化し  
てしまうのでは  
ないかと思  
います。

- 平成17年度の主な事業は
- 駅開通に合わせ新たなバス路線網の整備
- 中央駅バス停、におどり公園整備
- 三郷駅北口の整備
- 南蓮沼泉線第二大場川橋の整備
- 三郷駅エレベーター設置へ

## 3月議会一般質問

(市長答弁)

一、残土置き場の状況は周辺に大きな被害がある。早急の残土規制条例を制定すべきと思うが

残土置き場が多くみられ、環境上好ましくないと認識している。現在、残土条例を準備をしている。6月議会に議案を提出したいと思っている。森議員同様早急に条例を制定する必要があると認識している。担当にそのよう指示をしている。



を早急に要望すべきと思うが

二、三郷中央駅の発展は駅周辺の早急な開発に係っている。土地の開発

三、三郷中央駅の発展は駅周辺の早急な開発に係っている。土地の開発

三、習熟度の別授業の本  
いる。望強  
く要望して  
来るよう出  
地活用を強  
完了させ土  
進し換地を  
に事業を推  
である。早急  
が。状況  
定地に住宅  
通り線の予  
る。区画整理  
者は全線で13.5万人(日)を想定して北  
PRしたいと中央地区のポテンシャルを  
市の魅力と中央地区のポテンシャルを  
どりの制定記念の写真を開催し、三郷  
市の魅力と中央地区のポテンシャルを  
PRしたいと中央地区のポテンシャルを  
者は全線で13.5万人(日)を想定して北  
る。区画整理事業の状況は、未だに北  
通り線の予定  
定地に住宅  
がある。早急  
である。早急  
に事業を推  
進し換地を  
完了させ土  
地活用を強  
来るよう出  
く要望して  
いる。望強  
三、習熟度の別授業の本



これから整備の駅南側

格導入について研究すべきと思うが  
学校選択制は今年導入の初年度であり一つの目的は達成出来たと考えている。

四、インターA地区の商業施設の経済効果と周辺整備について、市内商店街の活性化は  
学校間には大きな差を生じてはならないと認識している。現在、学校長の判断で学力テストを実施している学校は、本年度17校あります。22校で習熟度別授業を実施している状況です。中学校には国語、英語にも導入している学校がある。ただ、年間を通して言う所までは行っていない。



大型店の進出により周辺の道路を含めての沿道開発の促進、地域の利便性の向上、商環境の改善など都市機能の向上と多くの観点から多くのプラスの面が期待されている。反面、商店に寄っては厳しい環境に於けることも否定出来ません。地域商店街の活性化や環境整備事業、小売業振興資金等の制度資金を活用しての援助を行う。

五、市民債の発行による市民参加型行政は出来ないか

市民債の活用については、市民がその事業に参画し愛着を持つと言うことでは意義があると考えている。更に、一般縁故債を実施して、負担が少ないと言ふことならば大変結構な事であると思ふ。市民債に大きな関心を持っていて、今後、金利等、発行に必要な経費を精査して、可能ならば、におどり公園に予定している図書館の建設費に利用したいと思う。

# 瑞穂中学校へ地区外から104名

## 雑感

昨年4月から始まった学校選択制は、学校間でも新入生入学に大きな変化がありました。今年もその傾向は変わらず、より学校を選ぶ子供達の選択が顕著に成ったのではないかと思います。小学校では、彦郷小が通学区外から59名が入学、中学校では、南中が52名、瑞穂中が104名の入学希望者がありました。より良い教育環境を求めての希望であると思えます。この事による学校間較差が心配です。各学校の学力を伸ばす事が求められる事に成るのではないと思えます。私は本議会で「選択制の後に来る教育改革は習熟度授業の本格実施ではないか」と訴えました。習熟度別に分けた授業をし個人個人の能力を伸ばす事が求められています。習熟度授業の実施を望む父兄は63%が賛成(大阪府)と言います。調査もあります。解る授業が子供に取って幸せであり能力を伸ばす事に成るのです。一部やられていますが、制度として実施する事が大事と思えます。



瑞穂中学校

## 行政視察

- \* 個人で視察 \*
  - ・ 習熟度授業を実践している荒川区を視察 (2005.3.14)
- \* 公務視察 \*
  - ・ 三重県伊勢市、亀山市、シャープ 亀山工場視察 (自民党議員団) (2005.2.7-9)

## 4年間の活動報告

私は、前回の市議選に当たり10の公約を提案しました。この4年間の議員としての活動の中でどれだけ実現出来たか、又、どれだけ市政に影響を与える事が出来たかをここに報告を致します。

### 私の10大公約 (平成13年)

- 一. 市政の変革をします。
- 二. 日本一のIT都市を目指します。
- 三. わかりやすい市政を実現します。
- 四. ホームページによる情報公開します。
- 五. 交通事故0の町づくりをします。
- 六. 外環道に道の駅を実現します。
- 七. 市内15分圏の道路網づくり
- 八. 環境プロジェクトの作成
- 九. シルバー元気塾を上げ健康都市をつくります。
- 十. 一番重要な事は、市政が誰のためになるかを忘れない事です。

一、市政変革については、議会も陳情政治から政策提案を積極的に行う政治へと一般質問は勿論、様々な機会を捉えて訴えてきました。財政難の中で、行政組織の統廃合や外部委託もやりました。現状は不満の残る処です。引き続き取り組みなければならぬと思えます。

二、残念ながら後塵を拝していると言わざるを得ない状況です。埼玉県主導による電子入札システムへの参加を見送る、又、インターネットを利用した市民参加、様々な情報提供、又、庁内の電子決済等々まだまだです。

三、我々議員も含めて、率直に議論をしない事が原因とも思えます。議員、職員全員が市民と率直に議論をする事が必要と思えます。私は、議会報告にも、ホームページにも私の意見を掲載する様心がけています。そのことにつ

謙虚に受け止めるべきではないと思っています。

四、当初のホームページもリニューアルされ、又議会の議事録の掲載も実現しました。議会だよりへの一般質問者の指名掲載も本議会分より掲載される事になりました。

五、交通事故を個々に原因を求め減らすだけでなく道路構造、街作りから減らすその視点がまだと思っています。

六、道の駅については、国道周辺の活性化の核として、引き続き訴えていかなければと思えます。

七、三郷中央駅を中心とした、市内20分圏構想によりコミュニティバス路線網の充実が図られる事になりました。



バスが市民の足に

八、六月議会に土規制条例の提案をすると言います。市長答弁があり、野放しの現状を改善出来ると思えます。又、景観も含めて環境を保全する事も引き続き必要と考えています。

九、シルバー元気塾は全国的に有名な事業ですが、今後、予防介護と言う考えから、ますます重要な事業となります。この事業の発展、独立を引き続き訴えてゆきたいと思えます。この問題は何度も提案をしました。

十、何より大事な事は、何のため、誰のために市政はあるのかと言うことです。

## 過去3年間の議会での発言は！

### 年度別一般質問所要時間

(時間・分)

	H13	H14	H15	H16
3月議会	—	70	51	61
6月議会	—	53	55	50
9月議会	49	59	60	55
12月議会	51	52	49	48
合計	100	234	215	214

\* 初議会は13年9月からです。

先輩議員との間で、遠慮すると言うことも出て来るかも知れません。しかし、敬意を払う事と、議論は別と考えていますので、私は、よく先輩議員とぶつかります。しかし、議論が出来ない議会、又議員同士が議論出来ない様では、何の議会か解りません。少なくとも、自分の考えを公式に発言をしその責を負う事が議員ではないかと思えます。私はこの事を忘れる事なくこの4年間活動してきたと自負しています。以上報告致します。詳細については、議会報告14号までとホームページをご覧ください。頂ければ幸いです。

今年、改選の年です。平成13年7月に初当選以来、私なりに一杯議員活動をしてきました。議会事務局では、各議員が本会議でどの位の時間発言をしているかデータを取っていますので、私の過去4年間の発言時間をお知らせ致します。このデータは、質問と答弁の合計時間です。一問目の質問をし答弁を受けます。その後二問目を質問し、我々の質問の持ち時間が

3分ずつは合計35分です。30分は残り15分です。